

あ と が き

今年は天候不順で、夏が短かった。つい先日、やっと夏になったかと思ったら、また雨模様の日が続き、気がついたらすでに10月、回りは完全に秋になってしまったらしい。今年は核データ国際会議があり忙しかったからだろうか。特に季節の変わりが早く感じられる。

長年核データセンターの一員として努力し、核データニュースの編集を担当して来てくださった浅見哲夫氏が9月末日で退職され、原子力データセンターに移られた。核データニュースの編集委員も本号を持って止められることになった。浅見氏が核データニュースの編集に携ったのは1975年7月号(通巻34号)からで、まだ以前の「JNDCニュース」の時代であった。34号の「あとがき」に、それまでシグマ委員会事務局の仕事を手伝って来られた石原待子さんが退職されたので、ニュース編集の仕事に浅見氏が加わると当時の核データ研究室長の更田氏がかかれている。そのちょうど1年後、1976年8月号から誌名を「核データニュース」と変更し今日に至った。13年間の浅見氏の努力に敬意を表するとともに、今後も、国内の核データ関係者間の情報交換のため本誌を充実させていかなければと、感じる次第である。

(中川 庸雄)

編集委員

浅見 哲夫(原研), 喜多尾憲助(放医研), 高野 秀機(原研), 中川 庸雄(原研),
吉田 正(NAIG)